

[戻る](#)

<環境保全に関する取組状況の紹介>

株式会社 滋賀銀行

滋賀銀行の環境活動について説明いたします。

従来、金融機関の環境問題への取組みは総じて低調であったかと感じております。例えば、「ISO14001」の認証取得数は、環境意識の極めて高いドイツをはるかに凌いで世界一の水準であります。業種別に見てみますと銀行を含む金融業界の実績は微々たるものであることにもその一端が現れているかと思われま

す。そのような中で、当行はかねてより「環境」、「福祉」、「文化」を社会貢献活動の3本柱と位置づけてさまざまな活動を展開してまいりましたが、特に環境保全につきましては、琵琶湖畔に本拠を置きます企業の社会的使命と認識いたしまして、行政機関や県民の皆様と手を携えてまいりました。その活動を簡単に振り返って申しますと、

1. 昨年3月には全国で4番目、近畿では最初にISO14001の認証を取得いたしました。認証の活動範囲を単に省資源や省エネルギー活動にとどめず、銀行の本来業務であります融資や預金あるいは投資商品にまで拡大し、このことが審査機関(JQA)からの高い評価となりました。
2. 私どもの本店・支店には毎日たくさんのお客様がご来店いただくわけですが、お取引の感謝の気持ちとしてお渡しする頒布品を環境配慮のグリーン購入に平成10年から切替えたり、使用済み用紙のリサイクルシステムの導入で紙の再利用を図るなどの活動が評価され、この4月には「第4回グリーン購入大賞優秀賞」を受賞いたしました。
3. さらに、今月16日にはUNEP(国連環境計画)の「金融業界環境声明」に日本の市中銀行では初めて署名をし、環境保全への真剣な取組みを世界に宣言いたしました。

当地大津市では毎年「びわこの日」に湖岸の清掃活動を実施されますが、当行では「小さな親切」運動の一環として、行員並びに家族が参加するなど、今後も一層、環境活動を通して身も心もクリーンな<<クリーンバンクしがぎん>>の実現に努めてまいりたいと考えております。